

Withしずおか

SDGs活動 昼に振り返り

高校2年・栗田詩土
学校生活をより充実したものにするために、毎週水曜日のお昼休みにランチミーティングを行っています。校則の見直しやSDGs(持続可能な開発目標)など多くの活動を生徒会で担当しているため、ミーティングで計画や振り返りをしています。

また、生徒会役員は任期が1年と決められているため、今までの先輩方の伝統を受け継ぎ、よりよい学校づくりに貢献していきます。

2ヵ月に1度 情報発信

高校2年・宮本朋佳
私たちの学校では、2ヵ月に1回、SCPRという生徒会活動報告書が発行されています。掲載内容は、生徒会が取り組んでいることだけでなく、生徒会メンバーからのメッセージやクラス、個人で行っているSDGs活動の紹介など、さまざまなことを取り上げています。

生徒会やクラス、個人で行っている活動を、全校生徒に伝達する機会が少なかったため、SCPRを利用して情報共有をしています。

作成したSCPRは、紙資源削減のために「C1 a s s i」というアプリを利用して配信し、時間や場所を問わず情報の共有が可能になりました。これからも全校生徒のためになる情報を掲載し続けます。

夏場指定靴下 選択制に

高校3年・赤堀佑奈
校則見直しの第一歩として生徒からの意見が多かった、女子生徒の指定ソックス選択化を取り上げました。夏場、膝元まである靴下をはいていると、暑い・蒸れるといった声が一般生徒から多く上がり、夏場だけでも靴下を選択化できないかと生徒会で検討を重ねてきました。

そして校長先生や多くの先生方の力を借りて、指定ソックスの選択化を実現させました。校則検討プロジェクトも立ち上げることができたため、今後も生徒がよりよい学校生活を過ごせるよう考えていきたいです。

スラックスはき 男女平等

高校3年・坂原星華
「全校生徒が快適な生活をおくれるようにしたい」とそんな思いから、防寒・防犯の観点、そしてSDGs 5番「ジェンダー平等を実現しよう」の項目を元に取り組みしました。実際にスラックスをはいてきてくれる人は少数しかいませんが、選択肢の幅が広がったことは大きいと自分の中で感じています。

今回は、女子生徒に限定した活動でした。SDGs 5番は、男女の平等を掲げています。だからこそ、生徒の意見を今後の生徒会活動に積極的に取り入れ、風通しの良い学校、男女平等に少しでも近づけるような活動をしていきたいです。

中田島砂丘で海岸清掃

高校2年・田口愛理
5月9日に浜松市の中田島砂丘で行われたウェルカムクリーン作戦に生徒会役員として参加しました。海にはたくさんのゴミが落ちており、日頃ニュースで耳にする環境破壊をより身近に感じました。

限られた時間の中で他校の生徒と協力をし、多くのゴミを回収することができました。海や砂浜がきれいになった景色を見て、今後も環境保全活動に継続して参加しようと感じました。

被災の熱海へ義援金送る

高校2年・結城日和
熱海市で7月3日、大規模な土石流が起き、およそ130棟の住宅が甚大な被害を受けました。この災害で被災された方々を支援するため、浜松開誠館中学校・高等学校として義援金を送ることにしました。

短い期間でしたが、委員会と協力して約6万円を集め、浜松市役所へ届けることができました。先生方、生徒の皆さん、ご協力ありがとうございました。



私たちが作りました

記事をまとめたのは私たちです。(左上から)坂原星華、山下葵花、赤堀佑奈、三浦颯也、上島波矢都、(左下から)宮本朋佳、田口愛理、結城日和、栗田詩土、花島玄真



主体的に進化した私たち

私たちの学校

浜松開誠館 中学校・高校



グローバル気候マーチを行う生徒ら。写真はいずれも浜松開誠館中高提供

守ろう地球 自分ので

高校3年・三浦颯也
私たちの学校では、気候変動を訴え未来を守る活動として「グローバル気候マーチ」をこれまで4回行ってきました。街頭やオンライン、会員制交流サイト(SNS)を通して多くの人に意見を発信したり、浜松市長や静岡県知事へ要望したりする中で、多くの方に環境問題に対する意識を高めてもらうことができたと感じています。

また気候マーチを通して意見を主体的に述べるこの大切さを学んだため、今後も私たち若者から未来を守る行動を積極的に行っていきます。



若者会議で発表する生徒ら



あいさつ運動を行う生徒ら

あいさつ 一番が目標

高校2年・花島玄真
私たち浜松開誠館は毎週、中学生徒会が火曜日、高校生徒会が水曜日に、朝八時から十五分間、校門の前であいさつ運動を行っています。本校は立ち止まりあいさつを実践しており、あいさつNO.1の学校を目指しています。

あいさつはコミュニケーションの中でもっとも基本的な事であり、人の印象を左右するといわれています。そこで、私たち生徒会が先頭に立ち、率先してあいさつをする中で、全校生徒の模範となることを目指し、今後も継続して活動に取り組んでいきます。

個性出して 私服登校

高校3年・山下葵花
私たちは、これからの時代を生きていく上で、お互いが個性を認め、理解し合い、尊重することが大切だと考えました。そこで先輩方がこれまで以上に私服登校を提案していただくことに着目し、月一回、登校時の服装を選択できる日「Casual Day」を設けました。

現在一回を終えましたが、自己肯定感を高めたり、自由には責任を伴うことを改めて感じたりと、充実した活動だと感じています。SDGsの観点からも、このような活動は少しずつでも広めていきたいと考えています。



私服など、自分の好きな服装で勉強する生徒ら

未来へ生き抜く力 育む

高橋千広校長



本校は二〇二四年で百周年を迎えます。創立より「誠心・敬愛」を校訓とし、人に感謝する心、敬う心、愛する心を大切に育んでまいりました。その心は、現在も「徳育」として学教教育の柱としてあります。

現在、人生百年時代を生きぬ子どもたちに必要な教育を進めております。生徒たちが成人し、活躍する時代に、社会はどのように進化しているのでしょうか。四五年には「全人類の観望を結果しても一つの人工知能(AI)に勝てない」といわれるシンギュラリティが起こります。



浜松開誠館中学校・高校 = 浜松市中区で、本社へ「まなづる」から



年	出来事
大正13年	創立者 長谷川鉄雄 誠心高等女学校(4年制)開校
昭和22年	誠心中学校発足
平成8年	第4代理事長 高林一文就任
10年	校名を浜松開誠館中学校・浜松開誠館高等学校に変更、男女共学化
12年	新校舎棟・アリーナ棟落成
14年	浜松開誠館総合グラウンド完成
15年	校内グラウンド人工芝完成
23年	総合グラウンド(多目的フィールド)全面人工芝完成
24年	新校舎棟「未来館」落成
25年	校内グラウンド人工芝改修、陸上競技施設完成
26年	学校法人誠心学園・創立90周年記念式挙行
26年	雨天練習場完成
28年	校舎棟にWi-Fi整備、ICT教育の推進
29年	中学・高校にグローバルコースを新設
30年	浜松開誠館創立20周年記念式挙行
30年	浜松開誠館新校歌発表
令和元年	未来館増築棟(ダイヤモンドホール)完成
2年	アリーナII完成

学校の歩み